
オモイデナミダ

?陀多

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

オモイデナミダ

【Nコード】

N3067M

【作者名】

? 陀多

【あらすじ】

過去の優しい思い出では、どれも大切な宝物だった。

私の手は涙で溢れていた。

指と指の間から滴り落ちていく滴。

もう泣かないと決めていたのに。

君を思い出してしまって、私は泣いてしまう。

どうして、離れてしまったのか思い出せないくらい昔の事なのに、君だけはいつもあの時のまま変わらない姿で私の中に存在している。

泣き虫だった私の頭を優しく温かい手でいつも撫でてくれていた。

一緒にイタズラをして先生に怒られた事もあった。

放課後、君からバスケのシュートの仕方を教えてもらった。

CDを貸し借りした。

私が勉強を教えてあげた。

授業中に先生に見つからないように手紙のやり取りをした。

学校から家に帰る途中まで二人、手を繋いで歩いた。

あの、大きくて温かい手はもう無い。

あんなに楽しかったのに、どうして手を離してしまったのだろう。

指の間から零れ落ちていったのは「時間」

指の間から零れ落ちていったのは「気持ち」

指の間から零れ落ちていったのは「温もり」

指の間から零れ落ちていったのは「笑顔」

指の間から零れ落ちていったのは「本当の涙」

(後書き)

終わってしまった恋愛にも、たくさんの思い出があります。
そんな過去の悲しくて、楽しかった大切な記憶。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3067m/>

オモイデナミダ

2010年12月25日23時34分発行